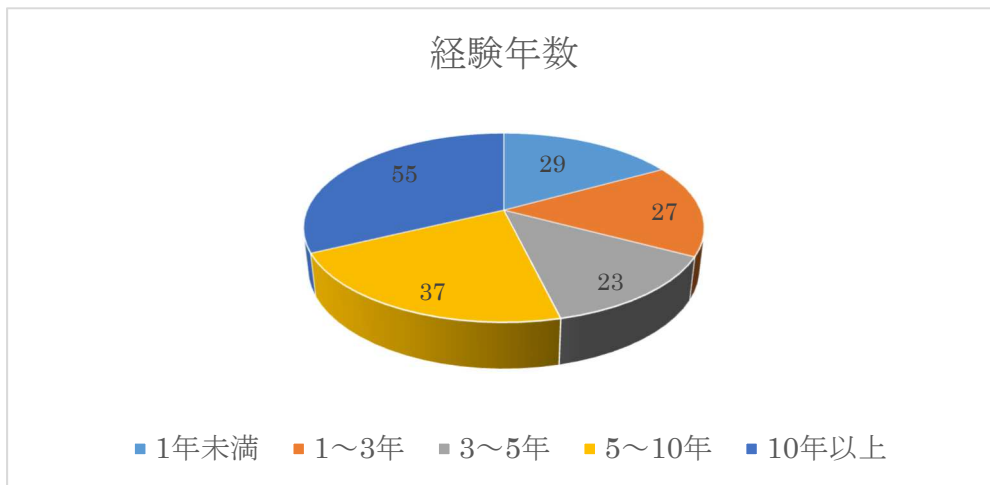


2019年度第2回研修会アンケート結果

参加人数 184名（会員41名 非会員143名）（熊本県内152名、県外32名）
アンケート回収171名 回収率92.9%

1、手術室経験年数

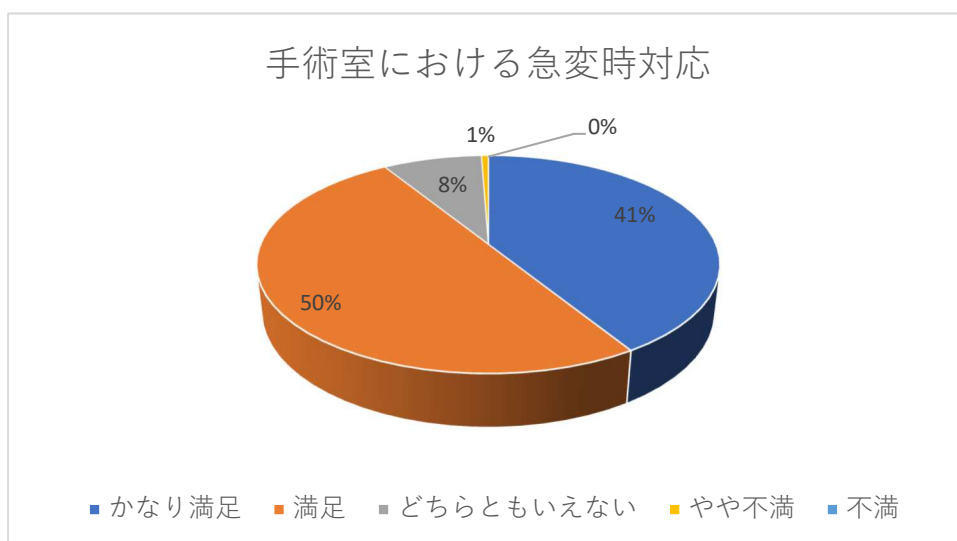
- ① 1年未満（29名）
- ② 1年以上3年未満（27名）
- ③ 3年以上5年未満（23名）
- ④ 5年以上10年未満（37名）
- ⑤ 10年以上（55名）



2、講義に対する満足度について教えてください

1) 手術室における急変時対応について

- ① かなり満足（70名）
- ② 満足（85名）
- ③ どちらともいえない（14名）
- ④ やや不満（1名）
- ⑤ 不満（0名）

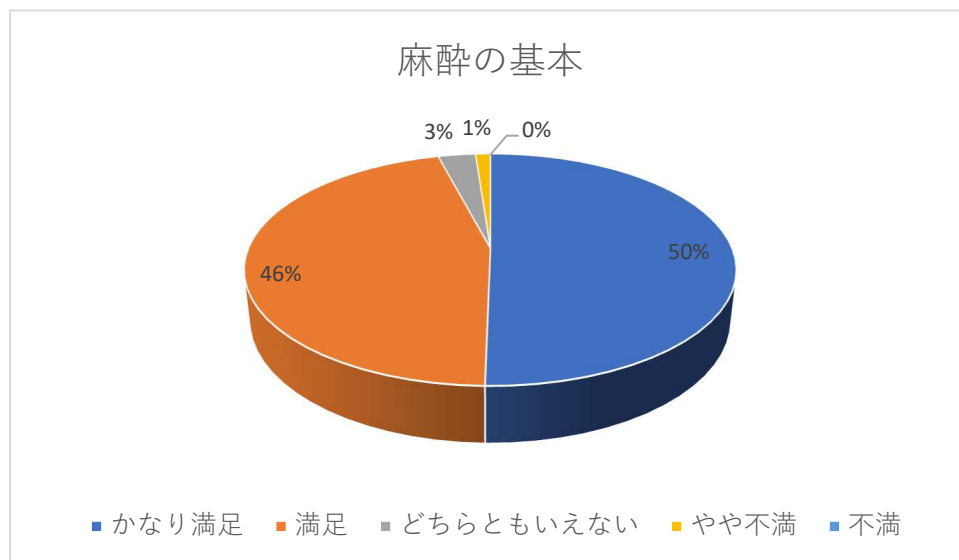


(理由)

- ・日々の業務やシミュレーションに役立てられる
- ・自分がどう動いたらよいか具体的にイメージできた
- ・局所麻酔時の注意点も分かりやすかった
- ・局所麻酔は外回り看護師一人で行っているの、早めの状況判断と人員確保が重要であることを再認識した
- ・いろいろなリスクを考えて、何が必要なかを常に考えて行動できるようになりたい
- ・手術室にいると麻酔科医に頼ってしまっており、急変時の対応ができなくなってしまっていたので、いい勉強になった
- ・初期対応を考える上でのブリーフィング、デブリーフィングの重要性をもう少し伝えてほしかった
- ・受講生の対象レベルや時間的制約があるため、研修内容の設定が非常に難しいと思いますが、大量出血が予想される術前からのアセスメント→術前準備→大量出血時の実際の対応等する方が、より参加者のアセスメント力向上につながるのではないかと思います。
- ・もう少し掘り下げて詳しく聞きたい
- ・今回の4つの急変以外のパターンも講義を受けたかった

2) 麻酔の基本

- ①かなり満足 (86名) ②満足 (78名) ③どちらともいえない (5名)
④やや不満 (2名) ⑤不満 (0名)



(理由)

- ・麻酔の歴史から最新情報までわかりやすかった
- ・麻酔の介助に役立てられる

- ・麻酔器モニターでの呼吸の見方が以前よりわかった
- ・何度もこの講義を受けているが、毎回振り返りとして興味深く楽しく受けている
- ・スライドの内容や構成がバージョンアップされており、新たな知識を得ることができた
- ・麻酔の4要素、麻酔の副作用、麻酔科医が「何をしているのか」という視点を持って外回りに活かしていく必要があると思った
- ・普段麻酔科医に詳しいことまで聞けず分からなかったことを理解することができた
- ・もっとパワーポイントのメモをしたかったが時間が間に合わなかった
- ・スライドの内容が手元に欲しい（3年未満に複数意見）

3、今回の研修はどのようにして知りましたか

- ①学会ホームページ（31名）
- ② 施設に送付された案内文書（85名）
- ③ 知人から聞いて（3名）
- ④ 上司からのすすめ（48名）
- ⑤未回答（5名）

4、今後聴講したい講師やテーマがありましたらご記入ください

- ・CVCI シミュレーション
- ・術前、術後訪問
- ・術中の観察ポイント
- ・薬剤、輸液管理
- ・麻酔器について動画でのレクチャー
- ・心電図、不整脈について
- ・心外の麻酔
- ・アレルギーについて
- ・小児麻酔、小児の急変
- ・神経ブロック
- ・記録の書き方
- ・新人教育

5、総括

例年に比べ、手術室経験10年以上および県外から参加者の割合が高かった。「手術室における急変時対応」という今までなかったテーマであったため、関心が高かったものと思われる。今後、各施設でのシミュレーション等に活かして欲しい。「麻酔の基本」に関しては、新人でも理解しやすい内容であり、受講経験のある参加者でも毎年バージョンアップしてあるため、満足度は高かった。